



平成26年度 学校概要

栃木市立大平中央小学校

〒329-4425

栃木県栃木市大平町新1354-2

TEL 0282-43-5177

FAX 0282-43-5999

E-mail: o-chuou @ tcn.ed.jp



中央小の歩み



【沿革史】

年	月	内 容
S.55	4	大平町立大平中央小学校 開校
	7	鉄筋プール完成 PTA設立総会
56	3	校旗・校歌制定
61	1	校舎増改築完成
H.元	11	創立10周年記念式典
	9	児童用パソコン20台設備
	11	言語障害通級指導教室開設(1クラス)
	11	創立20周年記念式典 記念遊具設備(クライミングネット)
	12	外国人子女教室開設
	18	10 耐震補強工事、大規模改修工事完成
	20	8 階段室天井吹付け材撤去工事
	21	11 創立30周年記念式典
	22	3 市町合併により 『栃木市立大平中央小学校』と改名
	4	特別支援学級(情緒)開設

【研究史】

年	内 容
S.56	町教委指定「同和教育研究」
57~58	県教委指定「体力づくり研究」
H.元	町教委指定「同和教育研究」
	県教委指定「ボランティア活動協力校」
2	町教委指定「同和教育研究」
	県教委指定「いきいき教育活動実践校」
3	町教委指定「ボランティア活動協力校」
4	町教委指定「高齢者福祉教育推進事業」
7	町教委指定「同和教育研究」
8~9	県教委指定「いきいきマイスクールインとちぎ」
11	県教委指定「高齢者福祉教育推進事業」
12	スクールカウンセラー活用調査研究
13	県教委指定「新教育課程定着プロジェクト校」
14	県教委指定「獣医師との連携推進モデル校」
15	町教委指定「人権教育研究」
16	町教委指定「学習障害児指導体制充実モデル校」
21	町教委指定「人権教育研究」
22	文科省「子どもの読書活動優秀実践校」表彰
25~26	市教委指定「ICT活用モデル校」

学校経営の方針

1 目指す学校

- ・子どもにとって、楽しく学習できる学校
- ・教職員にとって、ゆとりを持って、笑顔で勤務できる学校
- ・保護者、地域の人にとって、役割を分担し、協力しあえる学校

2 教育課程編成の留意点

- ①教育基本法、学校教育法、学校教育施行規則等の法令や現学習指導要領及び新学習指導要領によって編成する。
- ②栃木県教育委員会及び栃木市教育委員会の定めた指針等を基に編成する。
- ③地域や学校の実態を把握し、児童の人間として調和のとれた育成を目指して編成する。
- ④本校の教育目標を達成し、児童に「生きる力」を育むことを目指して編成する。
- ⑤ゆとりのある教育活動を展開し、基礎的・基本的な知識技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を帰結するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的な学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育活動を充実できるように編成する。

《 教育目標 》

じょうぶな子

健康で体力があり
たくましく生きる子ども

よく考える子

基礎・基本を身に付け
自ら学び自ら考える子ども

支え合う子

自らを律しつつ
他人を思いやる子ども

《 努力目標 》

(1)健康で安全な生活態度や習慣が身についた子どもの育成

- ①安全教育・安全管理の充実
- ②保健指導の充実
- ③食育の充実

(2)運動に親しみ進んで体力の向上に努める子どもの育成

- ①教科体育と体育的行事等の充実
- ②たくましく生きる子どもの育成

(3)未来に夢や希望を持ち、未来を切り拓こうとする子ども

- ①生涯スポーツの基礎づくり推進

(1)基礎的・基本的な学習内容が確実に身についた子どもの育成

- ①わかる授業の展開
- ②学習習慣の確立
- ③活用を図る学習活動の充実
- ④言語活動の充実

(2)学習意欲があり、主体的に学習に取り組む子どもの育成

- ①授業力の向上と授業の工夫
- ②個に応じた指導の推進
- ③特別支援教育の充実
- ④図書館教育の充実
- ④情報教育の充実

(1)基本的な生活習慣が身につく、規律のある子どもの育成

- ①道徳教育の充実
- ②児童指導の充実
- ③特別活動の充実

(2)人とのつながりを大切にする子どもの育成

- ①人権教育の充実
- ②家庭・地域、ボランティアとの連携・協力推進
(アシストネットの活用)
- ③清掃指導の充実
- ④環境教育の充実

《児童数・学級数》

H26. 5. 1現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
男子	57	55	64	65	54	52	347
女子	55	45	56	60	57	62	335
計	112	100	120	125	111	114	682
普通学級	4	3	3	4	3	3	20

* 普通学級20 特別支援学級3 (知2・情1)

《学校課題研究》

【テーマ】

『自ら考え、友達とかかわりながら共に学び合う授業創り』

【研究の概要】

自ら考え、友達とかかわりながら共に学び合う授業創りを通して、思考・判断力や表現力を高め、基礎基本の確実な定着を図る。

また、ICT機器のより効果的な活用についても研究する。

《教職員一覧》

H26. 5. 1現在

番号	職名	氏名	担当	番号	職名	氏名	担当
1	校長	栃木 伸元	学校運営	25	教諭	宮田 和子	特別支援学級(情)
2	教頭	堀 千尋	学校管理	26	教諭	福田 敏子	特別支援学級(知)
3	教務主任	井上 淳	教育課程	27	教諭	杉森 貴子	特別支援学級(知)
4	事務長	安藤真由美	事務全般	28	教諭	葭葉 典子	ことばの教室
5	助教諭	関口 由美	1の1	29	教諭	尋田 由香	ことばの教室
6	教諭	服部 紀子	○1の2	30	教諭	天海由紀子	日本語教室
7	教諭	伴 怜子	1の3	31	講師	田上 洋子	教科指導
8	教諭	平野 典子	1の4	32	助教諭	大橋 健太	少人数指導(3・4年)
9	教諭	島 由美子	2の1	33	教諭	吉本 洋子	新採拠点校指導
10	教諭	渡辺 由美	○2の2	34	養護教諭	渡邊 典子	保健全般
11	教諭	小口 咲代	2の3	35	非常勤講師	渡辺 恵子	学校支援非常勤講師
12	教諭	増山 綾子	3の1	36	非常勤講師	那花 國男	新採後補充指導
13	教諭	山杉 勝敏	○3の2	37	業務員	石川 英樹	営繕美化全般
14	教諭	田澤 咲絵	3の3	38	事務補助員	阿部恵理菜	文書・図書館事務
15	教諭	青木 理佳	4の1	39	特別支援員	荒川 敏恵	特別支援教育支援員
16	教諭	小此木菜美	○4の2	40	特別支援員	毛部川祐希	特別支援教育支援員
17	教諭	市田 健人	4の3	41	学校教育指導員	仲松ミゲル	日本語指導
18	教諭	菅原奈津子	4の4	42	内留	大橋 信広	
19	教諭	亀井 龍彦	5の1				
20	教諭	落合 知子	○5の2				
21	教諭	佐藤 学	5の3・児童指導				
22	教諭	梅山 好昭	6の1・学習指導				
23	教諭	反町 忠彦	○6の2				
24	教諭	富山真理子	6の3				

《日課表》

内容	時間
児童登校	～ 8:10
朝の活動	8:10～ 8:20
朝の会	8:20～ 8:35
1校時	8:35～ 9:20
2校時	9:30～10:15
休み時間	10:15～10:30
3校時	10:35～11:20
4校時	11:30～12:15
給食・歯磨き	12:15～13:00
昼休み	13:00～13:30
清掃	13:35～13:50
5校時	13:55～14:40
帰りの会	14:40～14:50
6校時	14:50～15:35

業間活動

金：諸集会（全校・発表・ワールド）
教育相談，練習（運動会・持久走等）

昼休み

水：ロング昼休み（清掃なし）

読み聞かせ

水：朝の読書 8:10～8:20

《主な行事予定》

4月	始業式 入学式 授業参観 PTA総会 1年生を迎える会 家庭訪問	11月	演劇鑑賞会 関ブロ公開研 持久走大会 校内読書週間
5月	校外児童会 運動会 避難訓練 授業参観	12月	校内人権週間 授業参観 終業式
6月	大平地区陸上交歓会 5年臨海自然教室 プール開き ワールド集会 PTAバザー	1月	始業式 学力テスト 南中進学説明会 校外児童会
7月	校外児童会 終業式 個別面談	2月	なわとびチャレンジ 一日入学 避難訓練 学校開放日 6年生を送る会
9月	始業式 大平地区音楽祭	3月	お別れ式 卒業式 修了式
10月	4年宿泊学習 自由参観日 引き渡し避難訓練 6年 修学旅行 各学年現地学習		

校歌

作曲 生井 武司
作詞 足羽 章

一

野をひらき我ら集えり
はるかなる南をうけて
丈夫に学ぶ
ふりそそぐ光の中の
光の子
大平大平ああ大平中央
意気高し

二

山を負いて我ら集えり
うらなるみどりに
染みて確かに学ぶ
流れくる香りの中の
香りの子
大平大平ああ大平中央
知恵の園

三

眉をあげて我ら集えり
草もゆるいきおいなして
仲よく学ぶ
手を結ぶ世界の中の
希望の子
大平大平ああ大平中央
道ひらく

平成26年度 大平中央小学校 経営構想図

<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領 ○下都賀地区学校教育の重点 ○栃木市教育計画 	<h2>教育目標</h2> <p>「知」(確かな学力)・「徳」(豊かな心)・「体」(健やかな体)の生きる力を身につけた児童を育成する</p> <p>じょうぶな子・よく考える子・支え合う子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童地域の実態 ○学校課題
--	--	---

<h3>目指す児童のすがた</h3> <p>『じょうぶな子』 ○健康で体力があり、たくましく生きる子ども 『よく考える子』 ○基礎基本を身に付け、自ら学び自ら考える子ども 『支え合う子』 ○自らを律しつつ、他人を思いやる子ども</p>	<h3>目指す学校のすがた</h3> <p>(子どもにとって) ○楽しく、安心して学習できる学校 (教職員にとって) ○ゆとりを持って、笑顔で勤務できる学校 (保護者・地域の人にとって) ○役割を分担し、協力し合える学校</p>	<h3>目指す教師のすがた</h3> <p>○豊かな人間性と確かな指導力を備え、常にわかる授業を目指す教職員 ○教育的愛情と使命感を持ち、子どもと共に活動できる教職員 ○資質や指導力の向上を目指し、自ら研鑽に励む教職員 ○同僚性を発揮し、互いに創造的に高め合える教職員 ○児童・保護者・地域社会との信頼関係を大切に、温かく誠実な教職員</p>
---	--	---

学校経営の方針

- 児童や地域の実態等に基づく「本校ならではの」特色ある学校づくりを推進する。
- たくましく生きる子どもの育成を重点項目とし、健康で体力があり、困難な状況にあっても根気強く努力を続け、未来を切り開こうとする強い心を持って子どもの育成に努める。
- 自己教育力の育成をめざして、一人一人の児童の特性を把握し、創造性と工夫に満ちた授業の実践に努め、基礎基本の定着を図るとともに、学習意欲を高めることを重視する。
- 人権教育の充実を重点項目とし、豊かな人間性の育成に努める。教師と児童、児童同士が相互に認め励まし合える信頼関係を築き、生命の尊重や人権感覚の醸成、思いやりの心の育成に努める。
- 日頃の生活を通して、集団生活のルールの遵守や、生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の指導の徹底を図る。
- 安全教育・安全管理の徹底を重点項目とし、安全で安心な学校作りに努める。
- 特別支援教育の充実を重点項目とし、一人一人に目を向けた教育活動を展開する。また、居心地のよい集団づくりに努め、一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実を推進する。
- いじめや不登校を始め、児童の問題行動等を迅速かつ的確に把握し、全校体制で学校事故の防止と解決に努める。
- 学校課題への取り組みを通して切磋琢磨し、絶えず研修を積み、指導力の向上に努める。
- 家庭・地域・ボランティア等との連携・協力を重点項目とし、地域の教育力を生かした教育活動を展開する。(アシストネット) また、家庭・地域・関係機関との連携を密にしながら、児童の健全育成に努めるとともに、開かれた学校づくりを一層推進する。
- 教育活動の実践にあたっては、全教職員の共通理解のもと、協働体制であった。また、全職員が個性や能力を生かせるような「やりがいのある学校づくり」に努める。
- 本校職員としての自覚と責任と使命感を持ち、職責の遂行とサービスの厳正に努める。

努力点・具体策

<h3>『じょうぶな子』</h3> <p>(子どものイメージ) ①健康で安全な生活態度や習慣が身に付いた子ども ②運動に親しみ進んで体力の向上に努める子ども ③夢や希望を持ち根気強く努力を続け未来を切り開こうとする子ども</p> <p>(努力点) ①安全教育・安全管理の充実 ②保健指導の充実 ③食育の充実 ④「早寝・早起き・朝ごはん」の推進(○) ⑤教科体育と体育的行事の充実 ⑥たくましく生きる子どもの育成(○) ⑦生涯スポーツの基礎作り推進</p>	<h3>『よく考える子』</h3> <p>(子どものイメージ) ①基礎的・基本的な学習内容が確実に身に付いた子ども ②学び合いにより思考力・判断力・表現力を身に付けようと努力する子ども ③学習意欲があり、主体的に学習に取り組む子ども</p> <p>(努力点) ①授業力の向上と授業の工夫(◎) ②授業における学び合い活動の充実(◎) ③よくわかる授業の展開 ④学習習慣の確立(○) ⑤言語活動の充実 ⑥個に応じた指導の推進(○) ⑦特別支援教育の充実 ⑧図書館教育の充実「読書習慣の形成」 ⑨情報教育の充実(◎) ⑩外国語活動の充実</p>	<h3>『支え合う子』</h3> <p>(子どものイメージ) ①基本的な生活習慣が身に付き、規律のある子ども ②思いやりの心や協調性・社会性に富んだ子ども ③人とのつながりを大切にする子ども</p> <p>(努力点) ①道徳教育の充実(○) ②児童指導の充実(○) ③特別活動の充実 ④人権教育の充実 ⑤国際理解教育の充実 ⑥環境教育の充実「花や緑のある学校」 ⑦家庭・地域・ボランティアとの連携協力の推進「アシストネットの活用」 ⑧清掃指導の充実「無言清掃の実施」</p>
---	--	---

<h3>○児童指導における共通理解と共通指導</h3> <ol style="list-style-type: none"> ①児童理解に基づいた指導 ②基本的な生活習慣の形成 ③児童の自主的活動への支援の充実(自己指導能力の形成) 	<h3>○地域との連携・協力(地域の教育力の活用)</h3> <ol style="list-style-type: none"> ①とちぎアシストネットの活用 ②栃木市教育委員会との連携 ③その他、専門機関との連携(子ども課・S.C)
---	---

